

公 表

第12回若年者ものづくり競技大会「造園」競技課題

次の注意事項及び仕様に従って、指定された区画内に施工図に示す庭園を見栄え良く作庭しなさい。

1 競技時間

標準時間	3 時間 30 分
打切り時間	3 時間 45 分

2 注意事項

- (1) 支給された材料の品名、寸法、数量等が「競技用材料（支給材料）」のとおりであることを確認すること。
- (2) 支給された材料に異常がある場合は、申し出ること。
- (3) 競技開始後は、原則として支給材料の再支給はしない。
- (4) 使用工具等は、各自必要と思われるものを使用してよい。ただし原則として電動工具の使用はできない。また、あらかじめ印をした用具などは使用を禁止する。
- (5) 競技中は、工具の貸し借りを禁止する。
- (6) 競技中に観客等と話をしたり、指導を受けたと判断されたときは、減点もしくは退場を命ずることがある。
- (7) 指定された範囲内で、安全に配慮して作業を行うこと。
- (8) 作業時の服装等は、作業に適したものとし、必要に応じて保護メガネを着用すること。
- (9) 標準時間を超えて作業を行った場合は、超過時間に応じて減点される。
- (10) 競技中は携帯電話（メール、時計、電卓の使用を含む）の使用を禁ずる。
- (11) 課題と図面をプリントした用紙を、8月3日受付時に配布する。競技中は配布された用紙以外にメモしたものや参考書等を参照することは禁止とする。
- (12) 作業が終了したら、競技委員に申し出ること。

3 仕様

3-1 造成

支給された客土（袋入り）を使用し、地盤を計画高に施工する。

3-2 竹垣

竹垣用の丸太、竹などを使用し、詳細図のとおり施工する。

3-3 縁石

縁石用石材を使用し図面のように敷設する。

3-4 敷石

敷石用石材を使用し、図面のとおりに施工する。

3-5 石張り（乱張り）

石張り用石材を使用し、図面のように仕上げる。砂目地とする。

3-6 植栽

中木及び低木を、図面のような感じになるよう土ぎめで植栽する。必要と思われる剪定はしてもよい。

3-7 草花植栽

支給された下草・草花を、指定された区画に修景を考慮し植栽する。

3-8 地均し・整地

仕上げの地均し、整地を行う。

4 支給材料 (1名分)

品 名	寸法又は規格 (mm)	数 量	備 考
縁石用石材	φ100~150 内外	20個	
敷石用石材	600×300×60	2枚	御影石 1面ビシャン 他機械切り
石張り (乱張り) 用石材	厚さ 25mm 内外	0. 8 m ²	乱形
竹垣	丸太	末口 60 、長さ 1300	2本
	唐竹	15~20 本じめ (4 節上がり、回り 70~90)	4本
	シュロ繩	径 3mm、長さ 25m	2束
	ビス	長さ 75	9本
	クギ	長さ 45	7本
	垂木	30×40×2000	1本 仮止用
中木	H 1500	1本	
低木	H 700	1本	
低木	H 300 W300	1株	
下草・草花		22ポット	
化粧砂		1／3袋	
客土 (袋入り)		0. 3 m ³	軽量土壤

5 持参工具

- (1) 必要と思われる工具は持参しても良いが、手作業で行うことを原則とするため電源（発電機も含む）を必要とする電動工具や油圧を使う工具については使用出来ない。
ただし竹垣施工のビス止めに使用する充電式インパクトドリルについては持参可とする。
- (2) 工具の大きさについては特に指定はないが、通常使用している標準的な工具とする。
- (3) 充電式ドリルの刃を交換してサンダーのように使用することはできない。

6 その他の注意事項

- (1) 印刷方法等で課題図面の縮尺に誤差が発生した場合は、表示寸法を優先にすること。
- (2) 材料については都合により直前に変更することがある。
- (3) 競技終了後、課題の解体撤去作業を行う。

7 競技日程

8月3日（木） 開会式 会場下見 材料確認

集合 14時、 開会式 14時30分 終了 16時

※ハサミ、手袋を持参すること。材料確認で植木の枝折りをはずす際にハサミ必要。

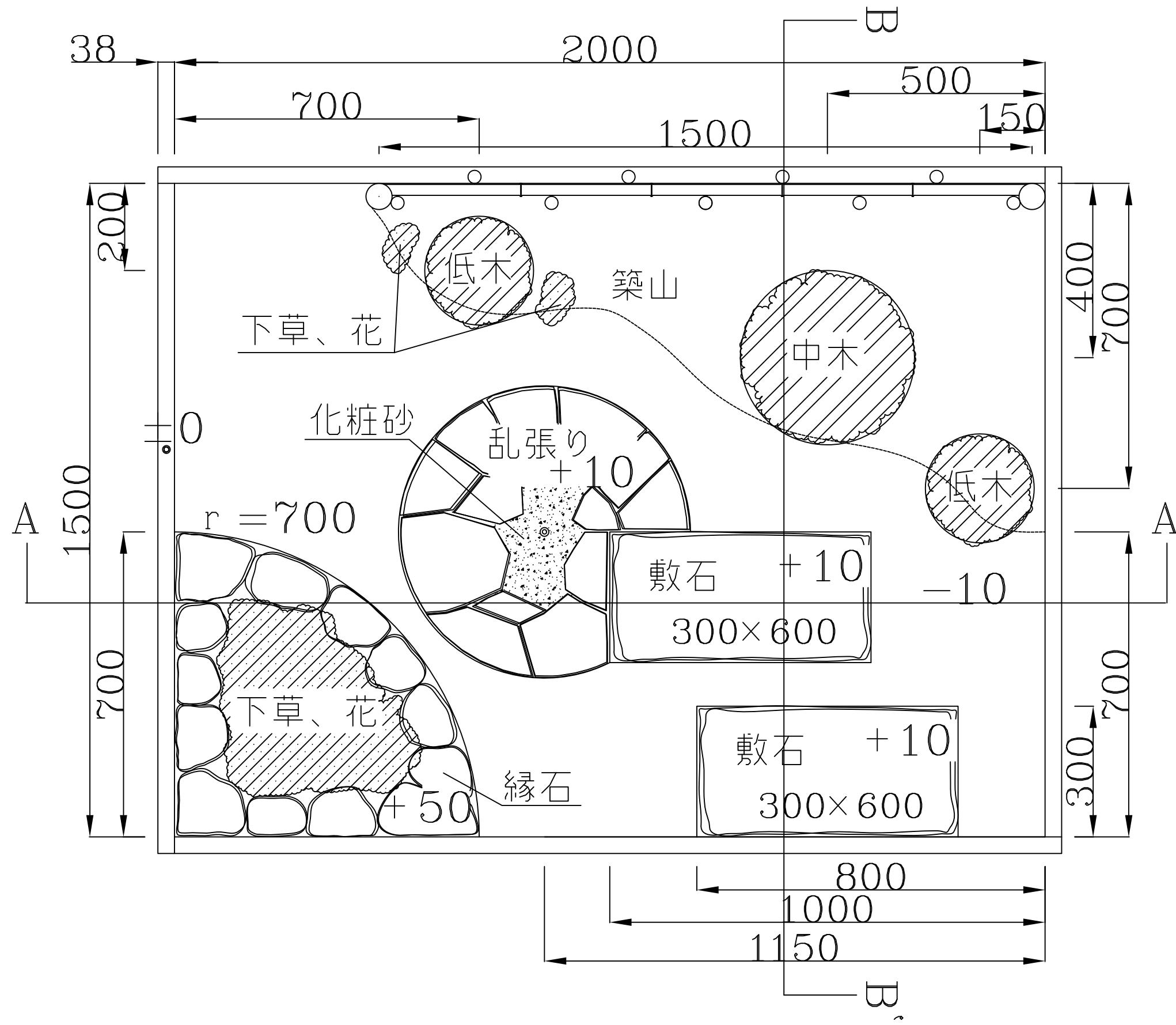
8月4日（金） 競技 集合 8時30分、 開始 9時 終了 12時30分（標準時間）
打切り 12時45分（打切時間）

講評 13時30分～

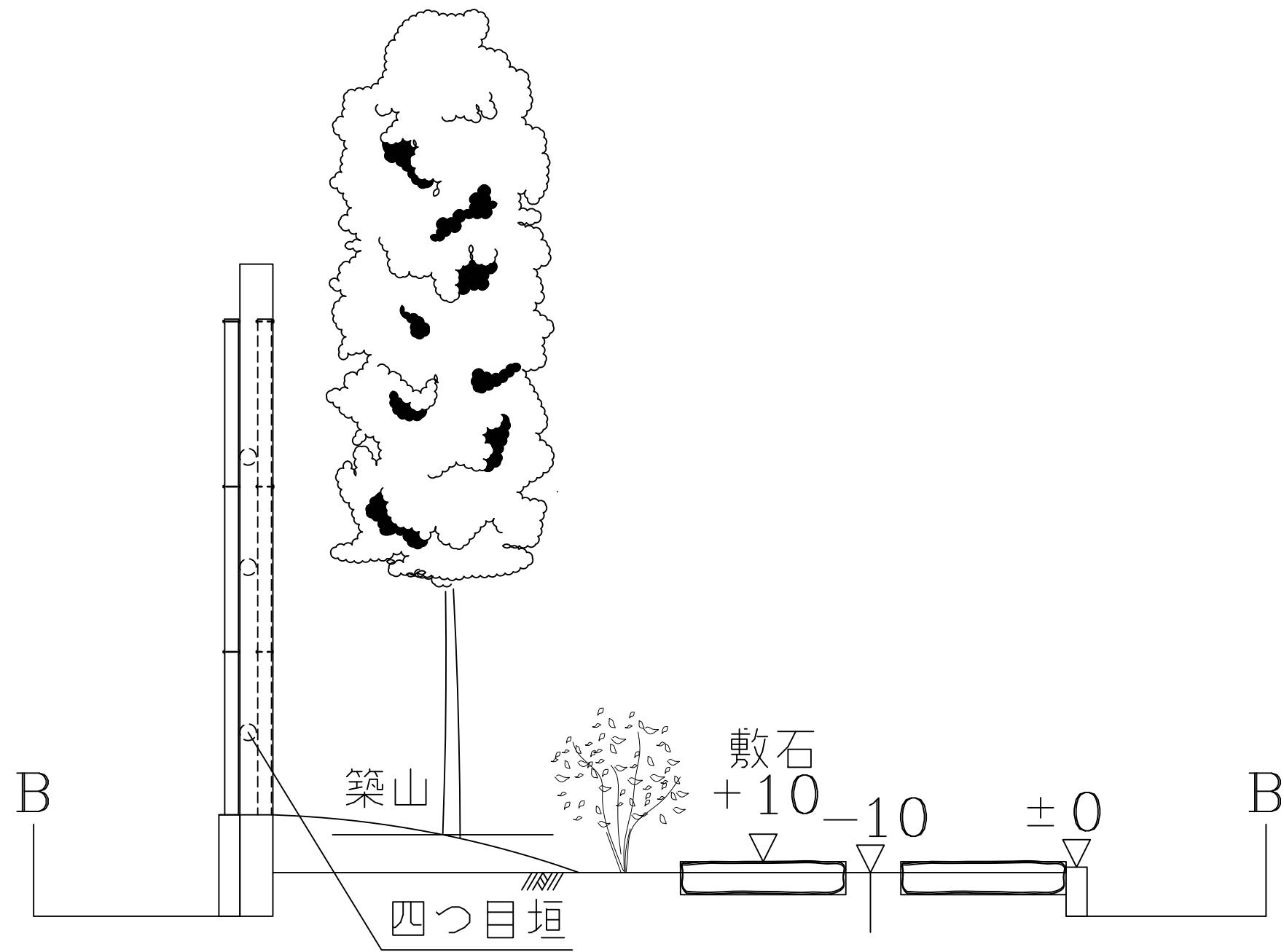
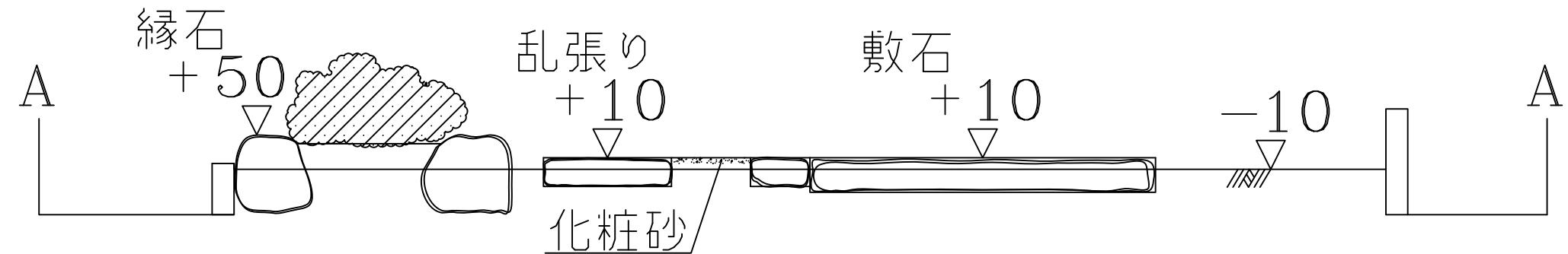
解体撤去 14時30分～ 16時

8 採点項目及び配点

採点項目		配点
作品採点	正確さ(客観採点)	15点
	出来栄え	70点
作業時間採点 経過時間に応じて減点		5点
作業態度採点		10点

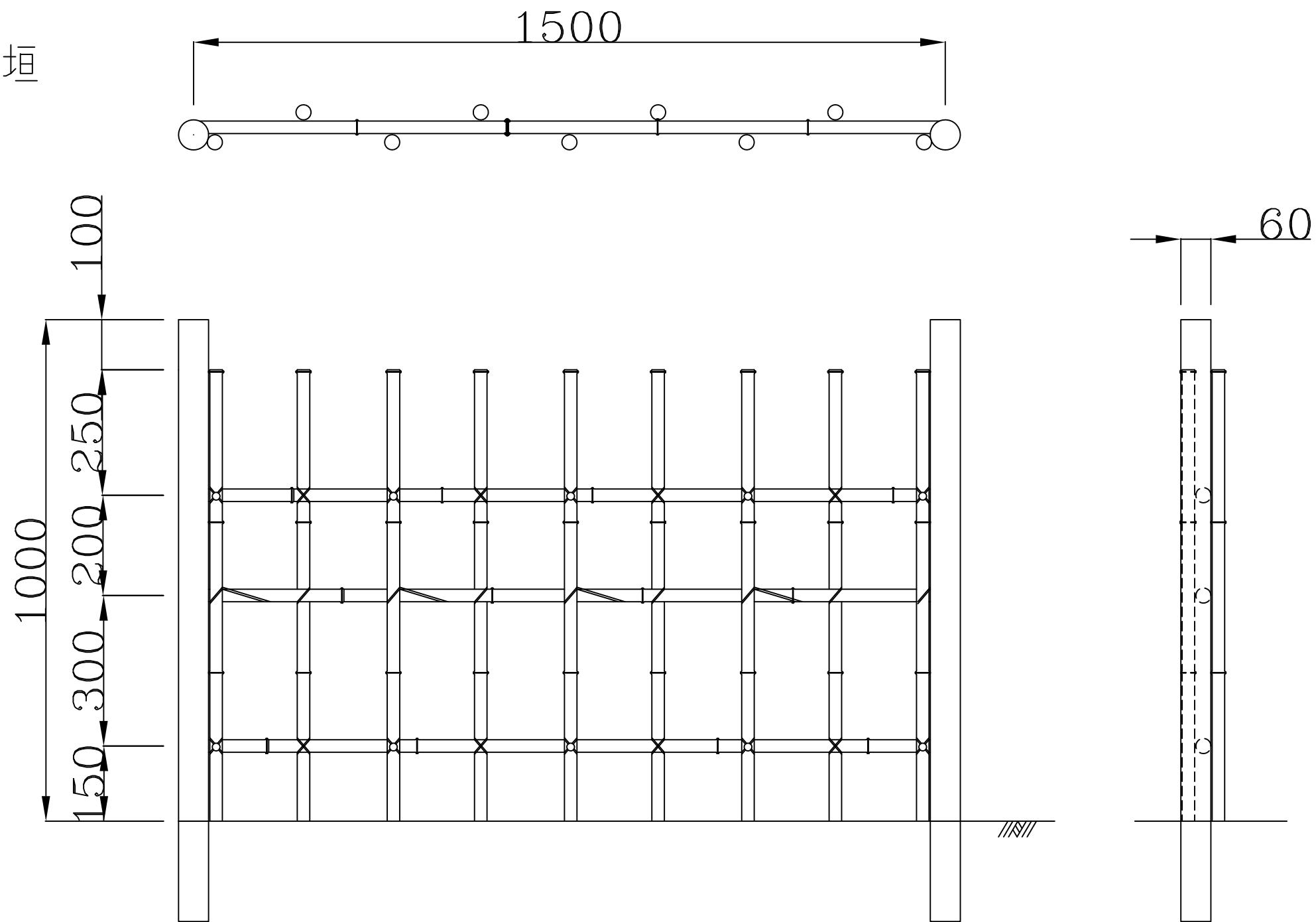


断面図



詳 細 図

四つ目垣



S = 1 : 10

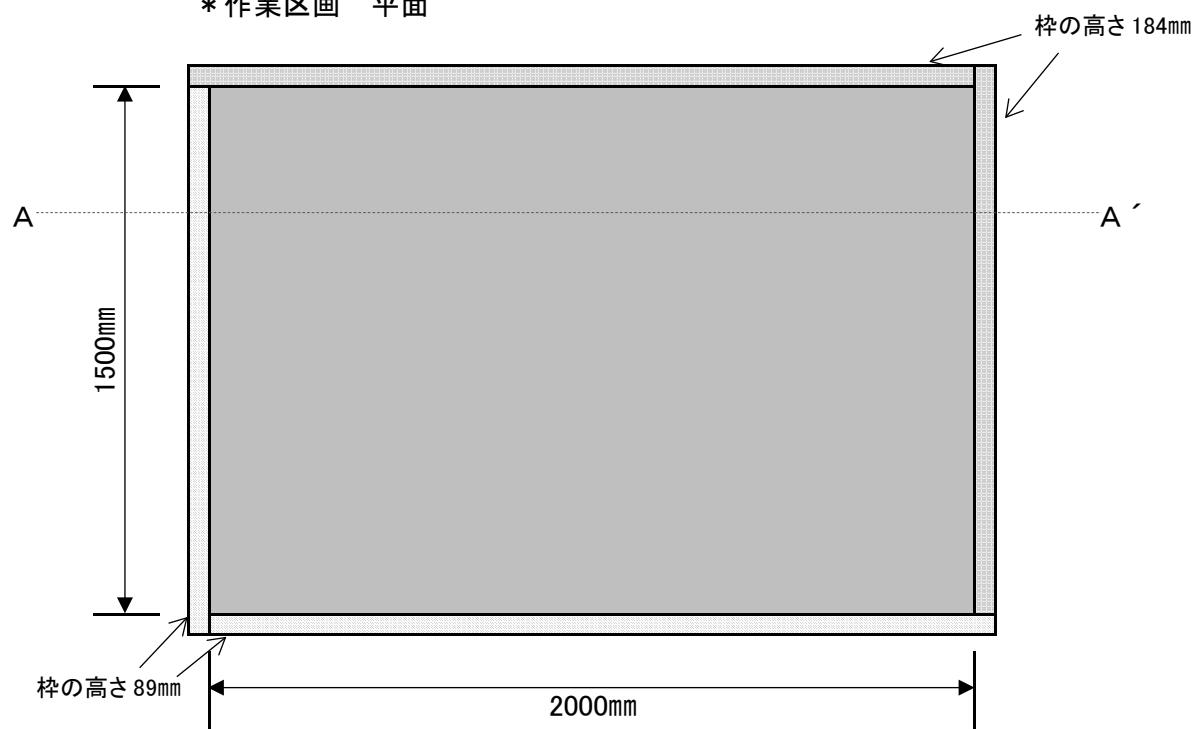
公 表

※作業枠に底板を追加しました。

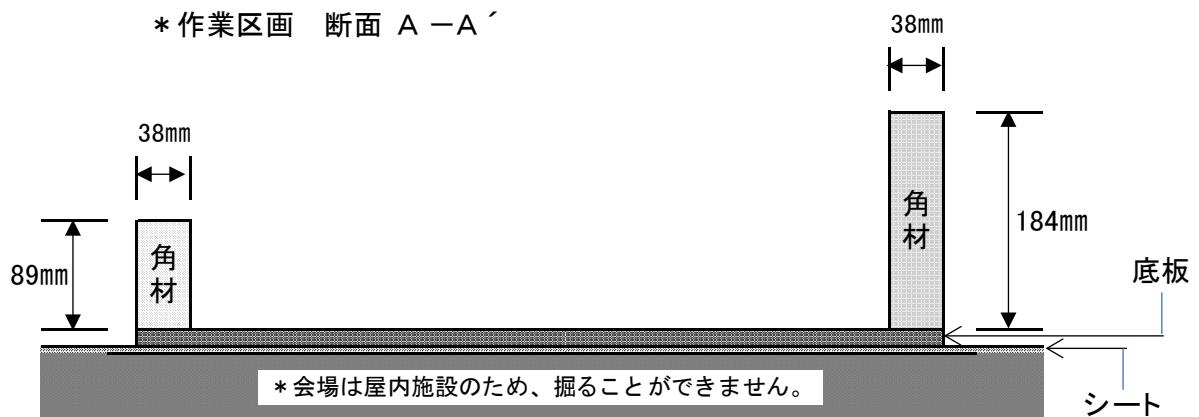
第12回若年者ものづくり競技大会「造園」職種競技会場設備基準(改定版)

設備の名称		寸 法 又 は 規 格	数 量	備 考
区 分	品 名			
設備類	作業区画	一人当たり2000×1500mm	出場者数分	<ul style="list-style-type: none">・高さ184mmの角材2本、高さ89mmの角材2本を使い、作業枠を作る。枠には底板をつける(別添図を参照)。・会場床にブルーシートを敷き、シートの上に作業枠を設置する。・作業枠の中に土は入っていない。(競技開始後、選手が支給材料の客土を使い必要な造成を行う)・加工にともなう端材及び剪定枝など集積場を別途設ける。
	ベニヤ板	1800×900×12mm	出場者数分	<ul style="list-style-type: none">・1人1枚支給
	ブルーシート	1800×1800mm	出場者数分	<ul style="list-style-type: none">・1人1枚支給

* 作業区画 平面



* 作業区画 断面 A-A'



平成29年6月16日

第12回若年者ものづくり競技大会
『造園』職種参加選手 殿

造園職種競技委員会
主査 高橋幸雄

若年者ものづくり競技大会公表課題への質問等について

このことにつきまして、第12回若年者ものづくり競技大会・造園職種競技
課題への質問等は、7月10日（月）までに中央職業能力開発協会宛に文書（電
話は不可）でお送りください。競技委員会にてとりまとめて回答文書を作成し、
中央職業能力開発協のホームページ上でお知らせいたします。

なお、課題に対する質問は選手に限り、代理者からの質問には一切お答えで
きません。また電話等による個別の質問にも、一切お答えできませんので、ご
承知おき下さい。

その他、大会までの間に訂正、変更、追加連絡等が生じた場合もすべて中央
職業能力開発協会を通じてお知らせ致します。

公 表

第12回若年者ものづくり競技大会（造園）
縁石・石張り用石材について

材料	石材名・産地	調達先
縁石用石材	和良石 岐阜県産【花崗岩】	(株)竹藤商店 〒485-0829 愛知県小牧市大字小牧原新田 1622番地 TEL 0568-77-2321 FAX 0568-77-0117
石張り用石材 (乱形)	ドネガルストーン アイルランド産【石英岩】	

縁石用石材（見本）



石張り用石材・乱形（見本）



公表

第12回若年者ものづくり競技大会 出場者からの質問と回答

分類	質問	回答
1 竹垣	垂木は、竹垣の仮止め用とありますが、必ず、使用しなければいけないですか。	各自の裁量に任せる。
2 竹垣	「垂木」の使い方がわかりません。どのように使用したらいいですか？	
3 竹垣	仮止め用の垂木はどのように使用しますか？	
4 竹垣	丸太の仮止めに器具を使用して良いですか	支給材料で対応すること。
5 竹垣	垣根製作で、シュロ繩以外に仮止め用の器物は持参して良いですか	
6 竹垣	竹垣に使う柱の天端は造園技能検定のときのように、水平に切り落としますか？	天端は水平に切ること。 その他、竹垣の仕様については、平成29年度2級造園技能検定実技試験問題の四ツ目垣の内容を参照。
7 竹垣	竹垣のビスはどの箇所を止めればいいですか？	各自の裁量に任せる。
8 竹垣	竹垣の柱に仮止めの釘を打ったり、ペンでしるしを書いてもいいですか？	良い。ただし跡など目立たぬようにすること。
9 竹垣	青竹は、竹洗いはしないでよろしいですか。	竹は洗わないで使用する。
10 竹垣	竹垣の裏側の立子は木枠の上に乗せるように立てるのか。	図面のとおり。
11 竹垣	竹垣の築山側の立子は根入れしても良いですか？	良い。
12 縁石	縁石用石材はΦ100～150内外20個とありますが、天端の50mmを揃えるために石材の加工は可能ですか	縁石は加工不可。
13 縁石	縁石の当たりは、割って取ってよろしいですか。	
14 縁石・石張り	縁石や乱張りをするとき、石は加工しても良いですか	縁石は加工不可。 石張り用石材は加工して良い。

15	石張り	石張り（乱張り）用石材について、石の種類と、加工が可能か教えてください。	石の種類と調達先は7月6日公表済。加工して良い。
16	石張り	乱形の石材をこやすけ等で加工しても良いですか？	
17	石張り	乱張り用の石は割ったりして加工するのですか？	各自の裁量に任せる。
18	石張り	乱張りの目地砂は支給されますか？もしくは、客土や化粧砂を使用しますか？	化粧砂を使用し、砂目地とする。
19	客土	客土の軽量土壤は具体的にどのようなものか。	製品名「フリーガーデンソイル」（入交コーポレーション）。石材同様、（株）竹藤商店（TEL0568-77-2321）で取扱い。
20	客土	軽量土壤はどのようなものですか。品物の公表はしますか。突き込んで土壤の締め固めはできますか。	締め固めはできる。
21	客土	客土の袋はどんな種類で何袋ありますか。	30リットル入り 12袋/一人当たり
22	客土	袋入り客土の袋はどれくらいの大きさ、重さですか？袋は複数に分けられていますか？	
23	客土	客土は最初に木枠内に入れてから作業を行うのか。各工程の作業に応じて適宜、入れてもよいのか。	各自の裁量に任せる。
24	草花植栽	下草、草花のポットは、外して植栽してもよろしいですか。	原則として、ポットは外さず植栽する。外すものがある場合は、8月3日の課題説明時に指示する。
25	草花植栽	下草、草花22ポットの種類の公表はいつ行いますか。また、化粧砂の種類は何ですか。	8月3日、会場で確認。
26	草花植栽	下草、草花22ポットの種類の公表はありますか。	
27	作業枠	区画は動かないように固定されて設置していますか？	作業枠は、底板をつけて設置される（会場設備基準改定版参照）。会場床面には直接固定されていない。
28	作業枠	角材の下部から土が漏れないように設置していますか？	
29	作業枠	作業区画（枠）の木材は何ですか。また、その固定方法は金折を使いますか。それともビス留めですか。	8月3日、現場で確認。

30	作業枠	枠に印をして良いですか	
31	作業枠	枠に水糸をさしても良いですか	木枠に印等つけても良い。ただし跡など目立たぬようにすること。
32	作業枠	木枠にビス止め等をおこなっても良いですか？	竹垣の丸太を木枠にビス止めして良い。ビス止め用に、インパクトドライバーを使用して良い。
33	竹垣	竹垣の柱は直接、木枠にビス止めしても良いのか。その際、インパクトドライバーを用いてもよいのか。	
34	竹垣	丸太支柱は区画内の客土だけでは充分な固定ができないと思うのですが、ビス等を利用して固定しても良いのですか？	
35	地均し整地	平面図の築山の形は、低木のポットが出てしまうため、あくまでイメージと考えてよろしいですか。	築山は図面のように仕上げること。低木がポットに入っている場合は、ポットから出して植栽する。
36	植栽	中木・低木の根鉢の高さは、木枠の高さ184mm以下ならいいのですが、それ以上なら根鉢を切断して植栽してもよろしいですか。	根鉢は崩さず使うこと。
37	植栽	平面図で低木は築山の途中に植栽されていますが、断面図ではG.Lの位置に植栽されています。どちらで植栽すればよろしいですか	図面のとおり。(断面図は、B-B'断面の奥に見える低木も、薄い線で描いている)
38	植栽	中木（H1500）低木（H700・H300）の樹種は何ですか	
39	植栽	中木・低木の樹種の公表は、ありますか。	中木はサザンカの予定。 低木、草花は8月3日に現場で確認。
40	植栽 草花植栽	低木、中木、下草・草花は何を使用しますか？	
41	植栽・ 草花植栽	植栽の樹種や草花の種類、数量は発表があるのか。	
42	その他	8月3日 開会式後の材料確認を行う時間帯について教えてください	材料確認は午後3時過ぎから20分程度の見込み。
43	その他	8月4日 競技終了後、解体撤去 14:30～16:00とありますが、16:00に解散ですか。	16時解散予定。
44	その他	遣り方に使用する「ぬき」や「杭」は使用して良いですか	良い。
45	その他	加工していない（印の入っていない）角材等を持ちこんでも良いですか？	

46	その他	作業区画外で木工などの作業は行って良いですか	原則として区画内で作業すること。区画外の作業エリアの有無については当日指示する。
47	その他	仕様表の〈3-3縁石〉と〈3-5石張り(乱貼り)〉の作業手順を変更して施工してもよろしいですか。 (石張りの石割りスペースに使用する目的)。 もしダメなら区画の外に支給されるコンパネ板の上に土を施してその上で石割りしてもよろしいですか。	3-3縁石、3-4敷石、3-5石張りの作業順序については、各自の裁量に任せる。
48	その他	ブルーシートは支給材料にあります が、自分で持ち込みは可能ですか。	良い。
49	その他	ブルーシートは持参して良いですか	
50	その他	ベニヤ板は自由に使用しても良いですか?	良い。
51	その他	インパクトドリルは複数持ち込んで良いですか	良い。ただし使用は、竹垣施工の作業に限る。

公 表

平成29年7月24日

第12回若年者ものづくり競技大会
『造園』職種参加選手 殿

造園職種競技委員会
主査 高橋幸雄

「保護帽」について（お知らせ）

下記について追加でお知らせします。

記

- ・選手は保護帽を着用すること。

以上、よろしくお願ひいたします。